

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 平成31年4月20日(土)
18:30~19:00

まちづくり協議会区域名 東大淀地区まちづくり協議会

会場 東大淀町民会館

参加者数 43人



《質問・意見》

おかげバスをやめ、タクシーにして、その費用で安く利用できるようにしてほしい。ここは伊勢市の端なので、行きたいのは市内だけではなく明和町方面にもいきたいが、バスではそれができない。高齢者が自家用車に乗ることをやめることにもつながり、事故の防止にもつながるのではないかと。

《回答》【市長】

おかげバスをやめればいくらかの予算は残るが、バスの運行には国の補助金等も入っていることから、その辺を見定めながらということもある。また、おかげバスだけでは成り立たないことは分かっていることから、現在、市内全体の公共交通の再編も考えているところである。われわれも提案しますので、地域に合うような形があればぜひ話し合いをさせてもらいたい。

《質問・意見》

学校の統廃合問題について、この地域の小学校の進捗率を聞きたい。

《回答》【市長】

当初は4校を1校にする予定であったが、防災面を優先したいことからどのようなスケジュール感をもっていけばいいのかを検討しているところであり、もうしばらく時間をいただきたい。

《質問・意見》

中学校が統合されたときに、遠隔地はスクールバスを検討するとあったがそれはどうなったのか。現在自転車通学となっているが、冬季の部活が終わってから安全に帰れるのかの調査は済んでいるのか。

また、小学校4校を1校にとなっているが、明野地区はどうするのか？計画を延期するのであれば、もう一度しっかりと検討してほしい。

《回答》【市長】

具体的なことを聞いていないので、また教育委員会に話をしてあらためて説明するような機会を作らせていただきたい。

《質問・意見》

オスプレイの配備に対する伊勢市の対応について、手放しで歓迎はできないが、沖縄の負担軽減にも寄与できることから、実際に配置されるとなったときには住民にとっての安全・防音対策を十分に行うよう防衛省に言うてもらおうとともに、基地対策費を十分に引き出し、この地区に防災・コミュニティセンター等を建ててもらいたい。

《回答》【市長】

防衛予算は有効的に活用していきたい。

《質問・意見》

東大淀には津波避難タワーが無いがなぜか？

《回答》【市長】

津波避難タワーを造るときには、その地区にどのくらいの人が住んでいて、どこに逃げ、どれくらいの大きさの逃げる場所が必要なのかを計算しました。そして、沿岸部の13の小中学校に外付けの避難階段の整備をして、それでも足りないところへタワーを使いやすい所などへ造ったためである。

《質問・意見》

消防団のなり手が無い。あと10年でいなくなってしまう。将来的に消防団員が居なくなったときに備えて、常駐の消防署の分署の配置を考えていってもらいたい。また、伊勢市には働き場所、魅力的な場所が神宮周辺以外は少ないので、それらを誘致できたらいいと思う。

《回答》【市長】

消防団員の成り手の話は、防火体制の推進も含めていろんな形を考えていきたい。

企業誘致については、現在は企業用地が全て売れてしまったことから、半年くらいをかけて企業を誘致若しくは拡大するための用地をどこに造っていけるのか等を検討しようと考えている。また、人材不足で困っている企業がたくさんある。大学生等に市内の企業の魅力を知ってもらえるような取組を、中南勢地域で一緒にやっっていこうとしているので、参考にさせてもらいたい。

《質問・意見》

県道の拡幅をするように県に働きかけてもらいたい。東大淀・村松の県道は昔から拡張されていない。

《回答》【市長】

県道の拡幅と併せて照明の設置も以前から要望をいただいている。国・県に対し、何回も言い続ける必要があることから、町会等からの要望書も何度も戴けると、われわれも要望しやすいのでよろしくお願ひしたい。

《質問・意見》

伊勢病院について、基準外の繰入金が10年間で33億円となっているとのこと。今後の経営を心配している。

《回答》【市長】

まず、病院のサイズをダウンサイジングしていくため、病床を420から300床に減らしました。その効果でベッドの稼働率も80%近くになってきている。収入面では、診療報酬が高いのは救急医療ですが、そのためには脳と心臓の医師を確保しなければならない。また、未病対策と回復期医療について藤田医科大と一緒に進めている。

収支の改善と、この地域で必要な医療の充実を図っていきたいと考えている。